

科目名	卒業研究							年度	2025
英語科目名	Graduation Research							学期	後期
学科・学年	声優・演劇科 2年次	必／選	選	時間数	120	単位数	8	種別※	講義+演習
担当教員	田中由香	教員の実務経験		有	実務経験の職種		声優		
【科目の目的】									
舞台・映画・アニメーション・ゲーム等、様々なメディアにおいて必要な、キャストについてさらに見識を深める。演技する者として表現者であり続けるために様々なジャンルの作品を通して、自分に有益なものを吸収し、演技というものを理解する。この授業に参加する学生が、固定観念に縛られず、自由な発想、役柄の掘り下げ方など、芸能の世界において活動していくための研究の必要性を理解することを目指す。									
【科目の概要】									
個々に研究テーマを設定し、卒業論文にまとめ発表する。									
【到達目標】									
言葉を使って「伝えること」の難しさを知り、さらに自らの課題を見つけ常にチャレンジし続けることを習慣化させる。									
【授業の注意点】									
授業態度（特に居眠りや私語）に関してはかなり厳しく対応する。また、連絡のない遅刻・欠席は認めない。授業時数の4分の3以上出席しない者は定期試験を受験することはできない。									
評価基準＝ルーブリック									
ルーブリック 評価	レベル5 優れている	レベル4 よい		レベル3 ふつう		レベル2 あと少し		レベル1 要努力	
到達目標 【理解】	声優・演劇科で学んだ事をしっかりと理解している。			声優・演劇科で学んだ事を理解している。				声優・演劇科で学んだ事が理解できていない。	
到達目標 【研究】	制作する為に必要な資料が必要以上に揃っている。			制作する為に必要な資料が全部揃っている。				制作する為に必要な資料が揃っていない。	
到達目標 【制作】	正しい日本語で、読み手に分かりやすく書かれており、自分の意見も交え、事実に基づき研究の成果が発揮された論文になっている。	読み手に分かりやすく書かれており、自分の意見も交え、事実に基づき研究の成果が発揮された論文になっている。		自分の意見も交え、事実に基づき研究の成果が発揮された論文になっている。		資料から抜粋しただけの論文になっている。		曖昧な表記が多く、引用したものだけの論文になっている。	
到達目標 【発表】	声優・演劇科で学んだ発声を活かし、表情豊かに、明瞭な滑舌で、聞き手を引き付ける発表ができる。	声優・演劇科で学んだ発声を活かし、表情豊かに、明瞭な滑舌で発表ができる。		聞き取りやすい音量と滑舌で発表できる。		声が小さい、または滑舌が悪い。		声も小さく、滑舌も悪い。	
【教科書】									
レジュメ・資料は必要に応じて配布。パソコン・タブレット・スマートフォンなどのモバイルツール、参考資料等は授業内で指示する。									
【参考資料】									
【成績の評価方法・評価基準】									
小テストおよび期末テストにより採点。授業への積極性と参加態度を評価する。									
※種別は講義、実習、演習のいずれかを記入。									

